

## —牧師室より—

月刊金曜日に、ヴァイツゼッカー独大統領がボンの障害者援助連邦協議会で行なった演説が掲載されていた。格調高い宗教家の説教のようである。大統領は、障害があるということを人間存在の多様性として理解し、その多様性を認める社会こそ正常な社会であると力説している。障害者差別は少数であること、そして何より生産効率主義が生み出すものであろう。年を取れば誰もが障害を持つ身になることを忘れてはならない。大統領はフランスブルグ判決を批判している。この判決は昨年、あるドイツ人夫婦が休暇でトルコに旅行した時、宿泊先のホテルに障害者のグループが泊まっていた。夫婦は帰国後、障害者と一緒のホテルだったので休養にならなかつたと旅行代理店を訴えた。裁判所はこれを認め、旅行代金の返金を命じた判決だと（注）が付けられていた。私も驚いてしまった。又大統領は、目が見えず耳が不自由な人々の肌の感受性を基準にすれば見え聞える人は障害があると判断

されると逆説を語っている。

福音書に記されている「罪人」とは、神との関わりにおける罪を問う精神的なことではなく、難病にかかった障害者たちのことである。彼らは社会から疎外されていた。しかも神の名において打ち捨てられていた。イエス・キリストはその彼らの方が「神の国」に近いと鮮やかな価値の逆転を宣言された。これが、神は人を共に生きるように創造し、隣人を愛する時始めて「人間になる」という福音であった。

作家の筒井康隆氏は、書いたものが差別と言われ、様々な議論がなされた後「断筆宣言」をした。差別発言、又ある人々にとって不快と思われる発言は心して謹むべきである。しかし差別の実態が何も変わってなく、言葉だけが一人歩きすることも問題であろう。言葉が著しく制限されると、パンチ・ユーモアもなくなってしまう。障害を負っている人々の忍耐と努力を少しでも知れば、世の中が全く変わってくるのではないか。

# 週 報

1993年10月3日 聖霊降臨節第19主日

世界聖餐日 世界宣教の日

巻14 27号

1993年度教会主題

「キリストが私たちの内に形づくられる」

聖句 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。

使徒言行録 16章31節～32節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
  2. 教会の組織を再検討し、キリストの体を作る。
  3. 家族こそって主イエスを賛美する。

日本キリスト教団

## 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323 振替 横浜 9-13994

牧師 秋 吉 隆 雄

牧師宅 電話 045-833-6616